

製作・問合せ

総合政策課 庁舎整備推進室
☎ 0287-83-1112



本号の内容

- 1 現在の主な検討状況
- 2 その他庁舎整備に関する市民の方々の主な意見

庁舎整備推進室では、令和4年7月に策定した「那須烏山市庁舎整備基本構想（素案）見直し方針」に基づき、市民の方々との意見交換を行いながら、候補地の検証・再考に向けた検討等を行ってきました。本号では、令和4年度にどのような検討をしてきたか、令和5年度はどのような検討をしていくか等についてお伝えします。

1 現在の主な検討状況

見直しのポイント① 4庁舎の今後の取扱いについての具体的な方向性の検討

① 今後の庁舎方式のあり方

(1) これまでの経過等

- ◎ H20.3 総合計画基本構想策定における総合政策審議会からの意見
⇒ 道路や公共交通網の拠点を担い、国・県の官公署が集積する烏山市街地を、将来における新本庁舎の位置とすることを尊重されたい。
- ◎ H24 烏山庁舎及び南那須庁舎の耐震診断結果
⇒ どちらの庁舎も、耐震性が不足し、コンクリートの中性化が進行しており、補強による耐震性の確保が困難である。
- ◎ H31.3 現行の庁舎整備基本構想（素案）
⇒ 分庁方式から本庁方式への早期移行を図る。

(2) 検討状況

- ・「今後の庁舎方式は本庁方式とし、烏山地区に整備することが望ましい」と整理しました。
- ・令和5年度は、その妥当性について、検討を行っていきます。

② 南那須地区における支所機能のあり方

(1) これまでの経過等

- ◎ H31.3 現行の庁舎整備基本構想（素案）
⇒ 分庁方式から本庁方式への移行にあたっては、（庁舎がなくなる地区への）市民窓口の設置など市民の利便性を十分検討する。
- ◎ R4.3 公共施設等総合管理計画（改定版）
⇒ 今後の保健福祉センターは、市役所の支所機能及び災害時の避難所機能を兼ねた運用をする。

(2) 検討状況

- ・「保健福祉センターに支所機能を配置することが望ましい」と整理しました。
- ・令和5年度は、その妥当性及び具体的な支所機能について、検討を行っていきます。

③ 水道庁舎のあり方

(1) これまでの経過等

- ・現在の水道庁舎は新耐震構造だが、築30年近くが経過し、老朽化が進んでいる。
- ・今後も継続して利用するには大規模改修が必要となる。

(2) 検討状況

- ・水道庁舎の現状、公営企業としての独立性、毎日の点検作業、緊急時の対応などを考慮し、令和5年度も引き続き検討を行っていきます。

見直しのポイント② 庁舎規模の再検討



① 当面の職員数の想定

検討状況

- ・「当面の職員数は、現在の正職員と会計年度任用職員の合計360名程度」と想定します。

② 本庁舎に勤務する職員数の想定

検討状況

- ・当面想定される職員数に基づき、支所機能や水道庁舎のあり方の検討内容を踏まえながら、令和5年度に整理していきます。

③ 庁舎規模の精査

(1) これまでの経過等

◎ R1.9 庁舎整備等検討委員会の答申

⇒ 人口減少等を踏まえ、コンパクトな庁舎整備を検討する必要がある。

◎ R3.11 まちづくりに関する市民意向調査における自由意見

⇒ 分庁方式ではなく機能を1カ所に集中し、災害発生時の総合的な拠点、市民活動の場となるような集約された施設の設置を望む。

(2) 検討状況

- ・「国の基準に基づき算定した庁舎面積に加え、執務室以外の必要な機能・市民が求める付加機能や、駐車場面積を含めた庁舎規模をシミュレーションする必要がある」と整理しました。
- ・令和5年度は、その妥当性及び具体的な庁舎規模について、検討を行っていきます。

見直しのポイント③ 本庁舎の立地場所及び「南那須市街地」と「烏山市街地」の今後のまちづくりの具体的な方向性の検討

① 本庁舎の立地場所の方向性（候補地の検証・再考）

(1) これまでの経過等

- ◎ R1.9 庁舎整備等検討委員会の答申
 - ⇒ 庁舎整備の立地場所は、まちづくりと一体的に考える必要がある。
 - ⇒ 災害対策・防災拠点としての安全性の担保を図ってほしい。
- ◎ R3.11 まちづくりに関する市民意向調査における自由意見
 - ⇒ 駐車場も確保でき、便利の良い場所を検討してほしい。
 - ⇒ 公共交通機関でのアクセス性を考慮すべき。
- ◎ R4.6.28、9.18 女性団体・市民団体との意見交換会での主な意見
 - ⇒ 新庁舎は烏山駅から歩いて行ける場所がいい。車が運転できるうちはいいが、高齢となって車が運転できなくなった際に、電車やバスで行けるような場所にすべき。

(2) 検討状況

- ・「現行の庁舎整備基本構想（素案）で候補地として選定された中央公園も含め、烏山地区において様々な角度から候補地の再検討を行うことが望ましい」と整理しました。
- ・令和5年度は、十分な敷地面積の確保が可能な候補地を改めて複数抽出し、評価・選定を行っていきます。

② 庁舎周辺公共施設の集約化・複合化の方向性

③ 烏山庁舎の跡地利用の方向性 ④ 南那須庁舎の跡地利用の方向性

(1) これまでの経過等

- ◎ R1.9 庁舎整備等検討委員会の答申
 - ⇒ 新庁舎整備に合わせ、市民ニーズの高い施設の複合化を図ってほしい。
- ◎ R4.6.28、9.18 女性団体・市民団体との意見交換会での主な意見
 - ⇒ 庁舎、市民ホール等について、しっかりと計画を立てていただきたい。

(2) 検討状況

- ・「新庁舎整備の検討過程において得られた情報に基づき、烏山庁舎・南那須庁舎の跡地利用を含めた公共施設再編のシミュレーションを行うことが望ましい」と整理しました。
- ・令和5年度は、具体的なシミュレーションについて、検討を行っていきます。

2 その他庁舎整備に関する市民の方々の主な意見

- ◎ R3.11 まちづくりに関する市民意向調査における自由意見
⇒ 新庁舎の整備は、省エネ、資源の削減にも繋がる。
- ◎ R4.6.10～7.9 宇都宮大学「地域プロジェクト演習」鳥山駅周辺エリアに関するアンケート調査結果
⇒ 万が一、災害があったとき、防災拠点がない、ろくな避難所もなくどうするつもりなのか。
- ◎ R4.9.29～12.18 なすからタウンミーティング
⇒ 新庁舎は、耐震不足なので造らないといけないと思う。
- ◎ R4.12.23～R5.1.31 女団連 那須烏山市新庁舎建設に関するアンケート調査結果※
⇒ 配布数891枚のうち751枚を回収（回収率84.3%）。
⇒ 新庁舎建設に賛成が約78%（583人）。
⇒ そのうち烏山市街地への建設に賛成が約79%（463人）。
※ アンケート調査結果の詳細は、市ホームページに掲載しているほか、広報なすからすやま令和5年4月号にも記事を掲載しています。



VOL. 2をご拝読いただき、ありがとうございました。
今年度は、市庁舎整備等検討委員会への再諮問を行うとともに、市民の皆様との丁寧な合意形成を図りながら、庁舎整備に向けた具体的検討を進めることとしています。検討状況については、庁舎整備ニュースレター等を通じ、市民の皆様にお伝えしてまいりますので、よろしく申し上げます。



庁舎整備ニュースレターは、バックナンバーを含め、市ホームページ上でもご覧いただくことができます。

右記のQRコードを読み込んでいただくか、

市ホームページTOP > 市政情報 > 庁舎整備 > 庁舎整備ニュースレター からご覧ください。

